

## 有償等オンライン資料の制度収集の開始について

国立国会図書館は、令和5年1月1日に、民間発行のオンライン資料（電子書籍・電子雑誌等）の全面的な収集を開始しました。これまで収集してきた無償かつ DRM（技術的制限手段）が付されていないオンライン資料に加え、有償又は DRM が付されたもの（有償等オンライン資料）についても収集することとなりました。

これは、令和4年6月1日に公布された国立国会図書館法等の一部を改正する法律（令和4年法律第57号）により、これまで国立国会図書館への提供が免除されていた有償等オンライン資料について、提供が義務付けられたことによるものです。令和5年1月1日以降にインターネット等で出版（公開）された有償等オンライン資料を収集対象とします。

収集したオンライン資料は、国立国会図書館の施設内に設置された端末で閲覧することができます。令和5年1月18日からは、PDF ファイル形式のオンライン資料について、著作権法で認められる範囲内で複写サービスも開始する予定です。

紙の本だけでなく、オンライン資料も、現在と未来の読者のために、国民共有の文化的資産として永く保存し、日本国民の知的活動の記録として後世に継承します。

オンライン資料収集制度は、インターネット等で出版（公開）される電子情報で図書又は逐次刊行物に相当するものを収集する制度です。

詳細については、以下を御覧ください。

### ■ オンライン資料収集制度（e デポ）

<https://www.ndl.go.jp/jp/collect/online/>



■ 問合せ先：国立国会図書館 総務部総務課広報係 TEL：03-3506-5103（直通）

(参考)

オンライン資料の収集イメージ

①収集対象

PDF, EPUB, DAISY  
又は  
ISBN, ISSN, DOI  
あり



出版者から送信・送付

②収集の方法

国立国会図書館 (NDL) が収集・保存

自動収集

送信

送付

○各種販売サイト等の  
本文情報ヘナビゲート



③利用方法

NDL 館内で閲覧可能



国立国会図書館  
デジタルコレクション  
<https://dl.ndl.go.jp/>

○各種検索サービスで  
存在を可視化

国立国会図書館サーチ  
<https://iss.ndl.go.jp/>

国立国会図書館オンライン  
<https://ndlonline.ndl.go.jp/>

※イラストの出典：いらすとや (<https://www.irasutoya.com/>)

①収集対象

- ・ 特定のコード (ISBN, ISSN, DOI) が付与されたもの、又は、特定のフォーマット (PDF、EPUB、DAISY) で作成されたものについて、メタデータ (題名、作成者、出版者、出版日、版、コード、URL) と併せて収集します。市場において DRM が付された状態で流通している場合でも、DRM が付されていない状態のファイルを収集します。
- ・ 同一内容が複数フォーマットで流通している場合は、代表的バージョンを優先的に収集します。
- ・ 機密扱いのもの、簡易なもの、納本済みの図書又は逐次刊行物と同一版面である旨の申出を受け確認したもの、長期間にわたり利用可能であり消去されないと認められるもの (いわゆる「リポジトリ」収録コンテンツ) 等は収集対象から除外されます。

②収集の方法

- ・ 収集方法は、あらかじめ申告された URL に国立国会図書館からアクセスして収集する「自動収集」、国立国会図書館の送信システムからアップロードする「送信」、DVD-R に格納して郵送する「送付」の 3 種類があります。令和 4 年 12 月から、複数の資料を一括して送信することが可能になりました。

### ③収集した資料の利用方法

- ・ 国立国会図書館の施設内（東京本館、関西館、国際子ども図書館）に設置された端末で、国立国会図書館デジタルコレクションから閲覧できます。また、同時閲覧制御（同一資料を同時に閲覧できる利用者を1名に限定）を行います。権利者から許諾を得た場合のみ、インターネットで公開します。

その他詳細については「よくあるご質問」(<https://www.ndl.go.jp/jp/help/online.html>)も御覧ください。